



報道発表資料の配付日時 1月11日(火) 14時00分

発表項目 (行事名)	道内における雪による人的被害状況について																							
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																						
		発表場所																						
概要	<p>○ 被害状況</p> <p>令和3年11月1日から12月31日までに発生した北海道内における雪による人的被害の状況は、別添資料のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>死者</th> <th>重傷</th> <th>軽傷</th> <th>死傷者計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[今回集計分]</td> <td>2名</td> <td>9名</td> <td>32名</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>[昨年同時期]</td> <td>5名</td> <td>38名</td> <td>73名</td> <td>116名</td> </tr> <tr> <td>(差)</td> <td>(-3)</td> <td>(-29)</td> <td>(-41)</td> <td>(-73)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 北海道のホームページでの公表 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/yukihigaizyoukyou.html</p> <p>○ 減少の要因として、道央圏をはじめとして雪の降り始めが遅かったことや昨シーズン記録的大雪となった空知管内での被害が減少したことなどが考えられますが、一方で留萌管内の積雪量が平年の2倍になっているなど注意が必要です。</p>				区分	死者	重傷	軽傷	死傷者計	[今回集計分]	2名	9名	32名	43名	[昨年同時期]	5名	38名	73名	116名	(差)	(-3)	(-29)	(-41)	(-73)
区分	死者	重傷	軽傷	死傷者計																				
[今回集計分]	2名	9名	32名	43名																				
[昨年同時期]	5名	38名	73名	116名																				
(差)	(-3)	(-29)	(-41)	(-73)																				
参考																								

報道(取材)に当たってのお願い	これからの時期、除雪時等における事故(特に屋根やハシゴからの転落事故)が多発しますので、事故防止に向けて一層の注意喚起の報道について御協力をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課(担当者:課長補佐 三浦 次郎) TEL ダイヤルイン 011-204-5900 内線 22-554
-------------	--

雪による被害状況(北海道)

※令和3年12月31日までの速報値であり、後日変更となる場合があります。

令和3年度北海道雪害対策連絡部
 (事務局:北海道総務部危機対策局危機対策課)
 連絡先: 災害応急対策係(ダイヤルイン)011-204-5900
 内線:22-554 課長補佐 三浦 次郎

1 被害の状況

(1)主な被害状況

振興局名	人的被害(人)			
	死者	行方不明	重傷	軽傷
空知総合振興局			3	16
石狩振興局	1		2	1
後志総合振興局				7
胆振総合振興局				
日高振興局				
渡島総合振興局				
檜山振興局				
上川総合振興局				8
留萌振興局	1		2	
宗谷総合振興局			1	
オホーツク総合振興局			1	
十勝総合振興局				
釧路総合振興局				
根室振興局				
計	2		9	32
死傷者合計	43			

※ 月別被害状況

	死者	行方不明	重傷	軽傷
11月				4
12月	2		9	28
1月				
2月				
3月				
計	2		9	32
死傷者合計	43			

(2)死者の発生状況

市町村	年月日	年齢	性別	概況
恵庭市	令和3年12月18日	67	男	自宅前で除雪作業中、胸苦を訴えて室内で休んでいたところ、その後意識・呼吸がない状態を発見されたもの。
留萌市	令和3年12月28日	75	男	自宅屋根上で除雪作業中、雪と共に落下し、雪中に埋没、死亡したものの。

※ 過去の雪害での死傷者数

	死傷者合計	死者	行方不明	重傷	軽傷
H23.11.1~H24.3.31	494	31	—	203	260
H24.11.1~H25.3.31	515	33	—	164	318
H25.11.1~H26.3.31	395	17	—	154	224
H26.11.1~H27.3.31	279	14	—	113	152
H27.11.1~H28.3.31	252	11	—	93	148
H28.11.1~H29.3.31	180	15	—	70	95
H29.11.1~H30.3.31	346	22	—	130	194
H30.11.1~H31.3.31	295	13	—	97	185
R1.11.1~R2.3.31	119	4	—	27	88
R2.11.1~R3.3.31	388	20	—	131	237

(3)被害の発生内訳

原因	件数	割合
屋根転落	16 人	37.2%
はしご転落	11 人	25.6%
落氷雪	2 人	4.7%
除雪機	4 人	9.3%
その他	10 人	23.3%
計	43 人	100.0%

年齢構成	発生原因					全体	
	屋根転落	はしご転落	落氷雪	除雪機	その他	内訳	割合
20歳以下	人	人	人	人	人	人	
21~54歳	2 人	2 人	1 人	3 人	人	8 人	18.6%
55~64歳	1 人	2 人	人	1 人	2 人	6 人	14.0%
65~74歳	4 人	4 人	1 人	人	2 人	11 人	25.6%
75歳以上	9 人	3 人	人	人	6 人	18 人	41.9%
計	16 人	11 人	2 人	4 人	10 人	43 人	100.0%